

朗読検定

2025年冬期（第150回～151回）受検要項

【下記の全ての級の合格基準】

筆記および実技試験 各50点満点 それぞれ80%以上の獲得で合格とする

【4級】

4級の目的 筆記 ※50点満点 40点以上で合格

- ・発声方法や朗読についての初歩的な知識を身につけること
- ・文学に関する初歩的な知識を身につけること

4級の目的 実技 ※50点満点 40点以上で合格

- ・しっかりと発声ができること
- ・明瞭な発音で、正確に読めること
- ・語り部分を、読む速度や抑揚、間の取り方に工夫して正確に読めること

－実技試験内容と採点項目－

- | | |
|----------------------------------|-------|
| ①発声課題 | (15点) |
| ◆時間（規定時間をクリア出来ているか） | 5点 |
| ◆声量（しっかりと発声出来ているか） | 5点 |
| ◆安定（安定した発音ができているか） | 5点 |
| ②滑舌課題 早口言葉 | (15点) |
| ◆時間（制限時間内に読み終わられているか） | 5点 |
| ◆正確さ（読み間違いなく、明瞭な発音で読めているか） | 5点 |
| ◆リズム（一定のリズムで読めているか） | 5点 |
| ③作品朗読 夏目漱石・作「吾輩は猫である」より抜粋部分 | (20点) |
| ◆情景描写（情景描写を伝える読み方の工夫が出来ているか） | 5点 |
| ◆読む速度と間の取り方（聴きやすい速度と間を取って読めているか） | 5点 |
| ◆滑舌と誤読（読み間違いなく、明瞭な発音で読めているか） | 5点 |
| ◆抑揚（抑揚は豊かか、癖はないか、意味に合っているか） | 5点 |

【3級】

3級の目的 筆記 ※50点満点 40点以上で合格

- ・アクセントの初歩的な知識を身につけること
- ・文学に関する初歩的な知識を身につけること

3級の目的 実技 ※50点満点 40点以上で合格

- ・明瞭な発音で、正確に読むことができること

- ・短文を正しいアクセントで読むこと
- ・文章に合った間の取り方、区切り、抑揚、緩急、強調表現ができること
- ・語りと台詞部分が判別できる読み方ができること

—実技試験内容と採点項目—

①滑舌課題 「外郎売り」より	(15点)
◆時間（制限時間内に読み終わっているか）	5点
◆正確さ（読み間違いなく、明瞭な発音で読めているか）	5点
◆リズム（一定のリズムで読めているか）	5点
②プロミネンス課題	(15点)
◆強調（指定部分の強調ができているか）	5点
◆滑舌と誤読（読み間違いなく、明瞭な発音で読めているか）	5点
◆アクセント（正しいアクセントで読めているか）	5点
③作品朗読 太宰治・作「走れメロス」より抜粋部分	(20点)
◆滑舌と誤読（読み間違いなく、明瞭な発音で読めているか）	4点
◆情景描写（情景描写を伝える読み方の工夫が来ているか）	4点
◆抑揚（抑揚は豊かか、癖はないか、意味に合っているか）	4点
◆間と区切り（間の取り方、区切り方は適切か、工夫があるか）	4点
◆緩急と強調（緩急と強調に工夫があるか）	4点

【準2級】

準2級の目的 A 検定筆記 ※50点満点 40点以上で合格

- ・単語や文章にアクセント記号を付けることができること
- ・同音異義語のアクセントの違いを理解すること
- ・鼻濁音や無声化の知識を身につけること
- ・朗読作品の表現計画を立てること（※実技試験連動）

準2級の目的 B 検定筆記 ※50点満点 40点以上で合格

- ・朗読作品の表現計画を立てること（※実技試験連動）
- ・朗読活動を通じて実現したい事を文章化すること（400字）

準2級の目的 A 検定実技 B 検定実技 ※50点満点 40点以上で合格

- ・高度な音声技能を身に着けているか
- ・正確な日本語アクセントで読むことができること
- ・登場人物それぞれの違いを表現できること
- ・表現計画で宣言した通りの表現ができていること

—実技試験内容と採点項目 A 検定—

作品課題 太宰治・作「ロマネスク」より抜粋部分	(30点)
◆滑舌・誤読（読み間違いなく、明瞭な発音で読めているか）	5点
◆アクセント（正確な日本語アクセントで読めているか）	5点

- ◆鼻濁音・無声化（鼻濁音や無声化はできているか） 5点
- ◆抑揚（抑揚は豊かか、癖はないか、意味に合っているか） 5点
- ◆間と区切り（間の取り方、区切り方は適切か、工夫があるか） 5点
- ◆緩急と強調（緩急と強調に工夫があるか） 5点

②プロミネンス課題 (20点)

- ◆強調（指定部分の強調ができているか） 5点
- ◆滑舌・誤読（読み間違いなく、明瞭な発音で読めているか） 5点
- ◆鼻濁音・無声化（鼻濁音や無声化はできているか） 5点
- ◆アクセント（正確な日本語アクセントで読めているか） 5点

—実技試験内容と採点項目 B 検定—

①作品課題 織田作之助・作「電報」より抜粋部分 (30点)

- ◆滑舌・誤読（読み間違いなく、明瞭な発音で読めているか） 5点
- ◆アクセント（正確な日本語アクセントで読めているか） 5点
- ◆鼻濁音・無声化（鼻濁音や無声化はできているか） 5点
- ◆抑揚（抑揚は豊かか、癖はないか、意味に合っているか） 5点
- ◆間と区切り（間の取り方、区切り方は適切か、工夫があるか） 5点
- ◆緩急と強調（緩急と強調に工夫があるか） 5点

②プロミネンス課題 (20点)

- ◆強調（指定部分の強調ができているか） 5点
- ◆滑舌・誤読（読み間違いなく、明瞭な発音で読めているか） 5点
- ◆鼻濁音・無声化（鼻濁音や無声化はできているか） 5点
- ◆アクセント（正確な日本語アクセントで読めているか） 5点

～ご注意いただきたいこと～

下記、2級試験につきましては、インターネット会議システム [Zoom](#) を利用した受検方法になっております。**先着 200 名に達し次第、受付終了**とさせていただきます。また、受付期間も、**3月31日までの受付**とさせていただきます。

【2級】

※試験日は3/14（金）または15（土）または16（日）となります。受検お申込み時に「ご希望の曜日」をご指定ください。

※試験日は11:00～17:00までの間で約20分となります。午前、午後のご指定は可能です。

2級の目的 A 検定筆記 ※50点満点 40点以上で合格

- ・朗読をはじめた理由を文章化すること（400字）
- ・朗読作品の表現計画を立てること（※実技試験連動）

2級の目的 B 検定筆記 ※50点満点 40点以上で合格

- ・聴き手に伝わる朗読に関する考えを文章化すること（400字）
- ・朗読作品の表現計画を立てること（※実技試験連動）

2級の目的 A検定 および B検定実技 ※50点満点 40点以上で合格

- ・準2級で問われる課題を対面朗読でもクリアできること
- ・簡単な作品の初見読みに対応できること (A検定のみ)

—実技試験内容と採点項目 A検定—

作品課題 **太宰治・作「ロマネスコ」より抜粋部分** (30点)

- ◆滑舌・誤読 (読み間違いなく読めているか) 5点
- ◆アクセント (正確な日本語アクセントで読めているか) 5点
- ◆鼻濁音・無声化 (鼻濁音や無声化はできているか) 5点
- ◆抑揚 (抑揚は豊かか、癖はないか、意味に合っているか) 5点
- ◆間と区切り (間の取り方、区切り方は適切か、工夫があるか) 5点
- ◆緩急と強調 (緩急と強調に工夫があるか) 5点

②初見課題 プロミネンス課題 (10点) ※試験日当日に配布

- ◆自然さ (自然な強調が出来ているか) 5点
- ◆技能 (総合的音声技能) 5点

③初見課題 詩 課題 (10点) ※試験日当日に配布

- ◆読む速度と間 (作品に合った読む速度と間か) 5点
- ◆表現力 (表現の工夫があるか) 5点

—実技試験内容と採点項目 B検定—

①作品課題 **織田作之助・作「電報」より抜粋部分** (30点)

- ◆滑舌・誤読 (読み間違いなく読めているか) 5点
- ◆アクセント (正確な日本語アクセントで読めているか) 5点
- ◆鼻濁音・無声化 (鼻濁音や無声化はできているか) 5点
- ◆抑揚 (抑揚は豊かか、癖はないか、意味に合っているか) 5点
- ◆間と区切り (間の取り方、区切り方は適切か、工夫があるか) 5点
- ◆緩急と強調 (緩急と強調に工夫があるか) 5点

②プロミネンス課題 (20点)

- ◆強調 (指定部分の強調ができているか) 5点
- ◆滑舌・誤読 (明瞭に、読み間違いなく読めているか) 5点
- ◆鼻濁音・無声化 (鼻濁音や無声化はできているか) 5点
- ◆アクセント (正確な日本語アクセントで読めているか) 5点

2024年12月31日
(一社) 日本朗読検定協会